

地域密着型通所介護光和堂 第1回運営推進会議

日時 28年9月26日(月) 午後12:00~12:30・12:35~13:15

場所 光和堂通所介護 事務室

出席者

西区北部圏域包括支援センター	A様
西区南部圏域包括支援センター	B様 C様
民生児童委員	D様
利用者ご家族	E様
ご利用者	F様
光和堂 代表	堀口
光和堂 生活相談員	横山

1 当日の次第

- (1) 開催の挨拶
- (2) 主席者の紹介
- (3) 活動状況の報告
- (4) 出席者からの活動状況の評価、要望、助言等の聴取
- (5) 意見交換
- (6) 閉会の挨拶

2 活動状況の報告 堀口・横山

当日配布資料により堀口より説明があった。その他、横山よりクリスマスイベント、お花見の開催など、ご利用者のご要望に合わせてプログラムしているイベントの紹介をした。また、ご利用者の介護度の変化として、機能訓練の継続により、要介護3で入所され週2回のご利用、7年の継続により支援2まで回復され今も現状維持されている方を紹介した。5年以上継続して参加されている方の運動能力の高さと、日常生活への好影響の実際など具体的に現場状況等についても報告を行った。

3 出席者からの活動状況の評価、要望、助言等の聴取

D様・・・通所介護の実態を知る良い機会となった。

A様・・・光和堂は心身共に元気を提供してくれて、実際に機能向上に繋がっている。
今後も現状のサービスを提供して欲しい。

C様・・・光和堂は少人数だからこそそのケアを行ってくれていて、頼みの綱としている。

B様・・・以前より、光和堂は機能訓練に力を入れていて、任せて安心感がある。

E様・・・91歳の父が社会との繋がりを保てる唯一の場となっている。運動以外にも治療院ならではの灸や鍼、按摩マッサージ等で健康維持をお願いしている。

F様・・・週に2回定期的に運動する事で、生活にメリハリが付き、楽しい時間を送っ

ている。今後はイベント等を増やして、光和堂以外の方との交流も作って欲しい。

4 意見交換

D 様・・・実際に問題なのは、通所介護を利用できずに、自宅に引きこもりになっている高齢者(特に独居の男性)である。まずは、外に出る機会を設けたいが、それこそが難問である。

E 様・・・引きこもりの高齢者に対して、家族もどう接して良いかわからない。

A 様・・・その問題は永遠の課題であり、あらゆるサービスを紹介しても、行政が介入しても、当人が NO と拒否すれば歩み寄りが難しい。

F 様・・・僕は光和堂に来るまで、自分は認知症になってしまったのかと思うほど意欲低下していた。アットホームで会話も運動も楽しめることで、生きる喜びが沸き、色々なことにチャレンジしたくなっている。引きこもりの人にその思いを伝えたい。

B 様・・・顔色も良くなり、笑顔で参加している F さんを見て安心した。小規模だからこそその良さですね。長い間通っている方ばかりで凄い。

E 様・・・素人ではよく分からない観点からも、サポートしてくれる光和堂の存在はとても心強く頼れる存在である。身体が思うように動かなくなっても面倒を見てくれる光和堂があるから生きていける。

C 様・・・きめ細かい指導で、アットホームな雰囲気がとても良い。光和堂にくると皆さん元気になります。

堀口・・・今後も光和堂の質を変える事無く、光和堂にしかできない、きめ細かいサービス提供を維持していきたい。

5 まとめ 堀口

地域包括センターのケアマネージャー様や民生委員様、ご家族、ご利用者からの現場で起きている問題点やご苦勞等の貴重なお話をお聞きする事ができた。特に民生委員の D 様からの独居で引きこもりになっている事例と、現在ご利用の F 様の改善した実例から、地域での光和堂の役割を見い出すことができた。来年 4 月からの総合事業での介護予防と自立支援に向けて、更に貢献できるようにスタッフ一丸となって努めていきたい。